

お知らせコーナー



お祭り 地域交流の場 菅生神社

今年は、菅生青年同志会結成20周年でもあり、菅生神社のお祭りは一段と賑わいました。

10月1日、宵宮は学童の子どもたちの八丈太鼓で幕をあげ、老人会、婦人会、子ども会と出演が続きました。青年同志会による恒例の人情味あふれるお芝居や、芸能人の出演を楽しみに大勢の人が集まっていました。有馬や野川からはるばる来られた方もいらしたとか。

菅生神社はかつて若宮八幡大神といわれ、蔵敷の鎮守様であったとのこと。13世紀に白幡八幡神社からの分霊を移し、明治期に初山や長沢の神社を合併し菅生神社となったそうです。

お祭りでは、宗教を越えて、人と人がふれあうよりどころのようなものが感じられました。

菅生中学校
★校内マラソン大会：12月7日
(土) 9時～12時
潮見台浄水場周辺にて
★体育館落成式：2月1日(土)

菅生こども文化センター
☎976-0444
★お楽しみ会：人形劇、踊り、絵本の読み聞かせ。サンタさんからプレゼントあり。12月21日(土) 2時～4時 集会室で

蔵敷こども文化センター
☎977-2577
★新春カルタ大会：1月18日(土)
★工作教室「ミニミニたこを作ろう！」1月25日(土)

宮前市民館菅生分館
☎977-4781
★成人学校「春の手編みベスト」
1月22日から毎水曜日全10回
受講料4千円(申込み1月8日10時より分館で。電話不可)
★しめ飾りづくり：12月20日(金)午後1時から、費用8百円(申込み12月13日10時より。電話可)

受賞に輝く！



菅生小、才能開発実践教育賞

菅生小では、平成6年度より菅生という自然が残された地域性を生かした環境教育を行っています。今回、この環境教育研究が才能開発教育研究財団(文部省等後援)の才能開発実践教育賞を受け、11月19日、6年生全員が出席して菅生小で受賞式が行われました。

子どもたちは、緑や川などの自然に恵まれ、野鳥が40種以上も観察されるこの菅生の良さに気づき、地域の問題にも関心をもつようになり、自分との関わりのなかで地域に目を向けてきたとの研究成果が認められたもの。

身近な環境を大切に子どもたちがたくさん育ってほしいと思います。

菅生中学校区地域教育会議ニューズレター(9)

1996年11月22日

発行：菅生中学校区

地域教育会議

編集：広報委員会

事務局：菅生中学校

☎977-8787

どらりあんぐる菅生

秋のひととき

お年寄りと子どもの

ふ・れ・あ・い

—ふれあい委員会—



10月12日(土) 秋晴れの穏やかな午前10時より、昨年同様、菅生分館に「お年寄りと子どもふれあいレクレーション会」を開催しました。

参加者は、大人40名、子供40名、昨年より、子供の人数が多かったため、また違った趣きの会となりました。菅生中吉原先生率いるバレエ部の子の顔も見られました。

「北の宿から」の曲に合わせて、タオルを巻いた準備体操に始まり、じゃんけんゲーム、輪になら、マリンチアホとし、そして、昨年も大変盛り上がりました。「一円玉の旅からず」は、今年も繰り返(おじり)ました。

昨年も喜び入りで参加した菅生中山田先生のギター演奏は、「もみじ」「里の秋」が、お年寄りに好評でした。お昼には、けんちん汁とおにぎりでみなさんも満ちたお昼、小学生のうたしてうた顔が印象的でした。

お年寄りからは、「元気な子供たちに囲まれて楽しいひとときを過ごせました。」「また来年も楽しみにしています。」

子供からは、「おじいちゃん、おばあちゃんがお家にいないので一緒に遊んで楽しかった。」「不思議なおじりやおもしろかったし、おじいちゃん、おばあちゃんにはいろいろ教えてもらって楽しかった。また出たいです。」という声を聞くことができました。

中学生は



体育祭、文化祭、英語検定試験・・・と行事が続くあい間に、10月19日(土)の午後、やっこのことで菅生中の生徒たちに集ってもらいました。

「いじめ」について中学生の声を聞いてみようというものです。初めての校長室でということもあってか、やや緊張気味でしたが、よく話してくれました。

参加者：1年(1名) 2年(4名) 3年(2名) といじめ部 広報委員(4名)

生徒指導担当吉原先生に聞く



心をひらく - 大切な生徒の信頼 -

Q: 「いじめ」への対策は?

○菅生中独自の生徒指導として、個人ノートや班ノートを交換して、生徒と情報交換している。

○被害調査、悩み調査を学期ごとに一回。一学期は一人ずつ相談にのる。

Q: 子どもたちからの訴えはありますか?

○なかなか実態はつかみにくい。当事者以外の子どもが訴えてくる場合もある。これは、教師と子どもの日頃の信頼関係が大切である。教師が信頼されているかどうか問われるところ。いい加減だと相談に来ない。真剣に取り組んでいるところを子どもたちに見せていかなければならないと思う。

Q: 取り組みの効果はどうですか?

○教員の耳に入ったものは80%くらいは解決していると思う。中には根が深いものもある。

Q: 相談はいつやっていますか?

○朝の学級活動(学活)の時間帯や昼休み、放課後に行う。子どもの悩みは何でも聞く。子どもの愚痴を聞いていくことから本音を聞くようにしている。いじめは1年生が最も多く、3年生になると少なくなる。

いじめを見たり聞いたりしたことがありますか。

◆クラスの仲が良い。悪ふざけはある。◆数人で、一人か二人をターゲットに無視したり冷やかしたりすることがある。◆悪ふざけがエスカレートして、いじめっぽくなって続くことがある。本人が解決することもあるが、友だちの力をかりて解決することもあるようだ。◆好きじゃない人に対して、消しゴムを当てたり、悪口を言ったりする。◆一人をターゲットにして追いかけて回し、チャイム着席できないようにする生徒がいる。先生に言うと、「チクッただろう」といじめられる。言っていないときも「チクッた」といじめられるので、波風を立てないようにするのが無難と思う。



「いじめによる自殺」についてどう思いますか。また、死にたいと思ったときどうしますか。

◆早まっちはいけない。悩みを親や兄弟、先生など信頼できる人に相談する。◆友だちを通じて先生に。◆親に話すと、「先生に相談しなさい」と言う。◆先生に相談すると「自分で解決しなさい」と言われた。

いじめの子はどうしていじめてしまうんだろう?

◆ボケっとしてる子、勉強をサボる子がいじめられやすい。◆何となく気に食わない。むかつく。自分と意見が合わない子をいじめめる。◆クラスの中心的グループがいじめめる。◆一度いやなことがあると、そのことをいつまでも言う。◆いつも一緒にいる子は、口げんかしても元に戻るが、グ

ループが違うと、トラブルがいじめにつながる。

“思いやり”をクラスや友だちの中で感じますか。

◆仲間同士では思いやりがある。◆やられているのを見ても、「自分には関係ない」と思ってる人が多い。

悩みをだれに相談する?

◆友だち、親、先生。◆学校からもらったカード(※)に書いてある相談所へ電話する方法があるが、電話する勇気が出てこないと思う。〈※川崎市人権尊重推進会議発行〉

生徒会の取り組みは?

◆深刻に悩んでいる子はいらぬと思うので、何かやってみよう。◆女子はグループ毎に分かれているが、孤立している子を無視しないようにしている。

親や先生に希望すること

◆生徒や子どもの言うことをちゃんと聞いてほしい。◆いじめの子といじめられてる子とその親、先生でよく話し合っしてほしい。

生きていていいなあと感じるのはどういうとき?

◆誕生日に友だちに祝ってもらったとき。◆友だちと遊んでるとき◆何かをなし遂げたとき◆家族旅行◆大きな大会に出て勝ったとき。◆楽しい経験をしたとき。◆いろいろな経験をしたとき。

インタビューして・・・

いじめの底にあるもの

自分があまり好きでない人をターゲットにして悪ふざけをする。相手が困っているのを見て面白がり、また、抵抗しないのをいいこ

とに、ますます悪ふざけす、の手と取り組んでいる。いじめられた子どもの心の傷は癒えない。いじめ側の子どもに内在している問題を掻きだしてやるのが、大人の役目かもしれない。